



創刊号
 2015年10月30日
 会員数 935世帯
 発行：中根自治会
 広報委員会

「とらづか」の創刊にあたって

中根自治会・中根自主防災会 会長 山田 俊

このたび、自治会、自主防災会の広報誌を発行することになりました。「自治会って何をやっているんですか」とよく聞かれます。これほど骨身に沁みる言はなく、じくじたる思いで一杯でした。まず、伝える（知らせる）ことがスタートですものね。

ようやく、継続的に発行するメドがついたため、今回、創刊号としてスタートを切ることになりました。会員の皆さんにどううまく伝えられるか、難しいことですが、経験の中で漸次改善していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、広報誌の名称を「とらづか」にしたのは、地域の象徴である「虎塚古墳」からとりました。地域の一体感、絆をつくり上げるうえで、最もふさわしいものではないかとの思いからです。

創刊号の特集として、「東日本大震災時のアンケート結果」を刊行する予定です。本誌より若干遅れますが、是非ご一読いただきたく、お願い申し上げます。



平成27年度中根自治会敬老会終わる

地域の方々とともに長命を祝う

去る9月21日（日）敬老の日、中根小学校体育館において、自治会主催敬老会が開催されました。出席者は、敬老者135名、来賓15名、役員等81名（手伝いの方も含む）でした。中根自治会区内の敬老対象者数は、387名です。自治会では、長年にわたって地域・社会でご尽力いただいたことに感謝申し上げるとともに、さらなる長寿を願って、最大の行事として取り組んできました。

【式典の部】 安義隆自治会副会長が開会を宣し、次に主催者を代表して、山田自治会長より「地域の発展に尽くされた功績にお礼を述べ、これからは大いに楽しんでいただきたい」旨のお祝いのあいさつがあり、続いて市長（代理）を始め、郡司彰参議院議員、海野透県議会議員、安雄三市議会議員よりお祝いのあいさつがありました。祝電が披露されたあと、米寿の方8名に対し褒状及びお祝い金が贈呈され、喜寿の方25名に対し、お祝金が贈呈されました。次に敬老者を代表して、西野隆ときわ会会長より謝辞があり、続いて山村班長（荒谷区班）の閉会のことばがあり、終了いたしました。



【アトラクションの部】 引き続き乾杯の音頭（寺山班長（上区1班））があり、アトラクションに入りました。



総司会の山本副自治会長より、バトンを引き継いだ横山寛子さん（上区4班）の司会のもと、地域の方々のアトラクションが披露されました。毎年恒例の中根小学校5年生全員による和太鼓を皮切りに、この日のために一生懸命練習してきたものです。踊り、歌（カラオケ・コーラス）、楽器演奏、マジック等、バラエティーに富んだものでした。敬老者の方も一部出演していただいて、元気なところを見せてくれました。みんな手づくりのものですが、心温まるものでした。最後に出席者全員で「ふるさと」を合唱し、大津班長（後野班）の万歳三唱で締めとなりました。敬老者の方に喜んでもらえることがすべてで、来年会えることを楽しみにしています。関係した多くの方、ご協力ありがとうございました。次ページに各班のアトラクション写真を掲載してあります。



一中地区秋季大運動会 無念の中止



去る十月十一日(日)、長堀小学校グラウンドにおいて、一中地区秋季大運動会(一中学区十三自治会の対抗戦)が開催される予定でしたが、雨のため残念ながら中止となりました。
今回は、優勝を目指して、二五〇名を越える選手・役員団を結成し、昨年の五位返上を合言葉に、闘志を燃やしてきましたが、かないませんでした。
出場予定の選手のみならず、力を発揮する機会がなくなりすみませんでした。
来年を待ちましょう。

第30回中根地区球技大会 選手・役員230名参加 優勝 ソフトボール 後野班A ヘルスバレーボール 荒谷区班A

去る8月30日(日)、後野グラウンドにおいてソフトボールを、中根小学校体育館でヘルスバレーボールを、各班対抗戦で行いました。選手集めや練習場の確保、仕事の関係で全員集まらない等、いろいろな問題を抱えながらも、中断されることなく、記念すべき区切りの第30回を迎えることができました。これは、スポレク役員や班長さんを中心として、ゆるぎない熱意の賜物と思います。



参加チームはソフトボール11チーム(下区班:1、荒谷区班:1、上区1班:2、上区2班:1、上区南3班:1、上区北3班:1、後野班:3)。ヘルスバレーボール6チーム(下区班:1、荒谷区班:2、上区1班:1、上区2班:1、後野班:1)でした。



後野班A

ソフトボール

例年暑さに悩まされてきたのですが、日差しもやわらかく雨上がりの絶好のコンディションとなりました。一投一打に悲喜こももも、手に汗を握る白熱した試合もあれば、一方的な試合もありましたが、全員力一杯頑張りました。そんな中で、3チームを出した後野班のAチームが、選手層の厚さを見せつけ、見事10数年振りに悲願の優勝をいたしました。

準優勝: 上区北3班 3位: 上区1班、上区南3班 でした。

ヘルスバレーボール



荒谷区班A

ヘルスバレーボールは、ラグビーの球の形状をしたより大きなボールを使う球技です。誰でも簡単にできるということが特徴です。市の働きもあり、自治会でもこの競技を普及させたいと考えています。

なかなか思うところに飛ばない、飛ばせない(これが面白い要因)ということで、珍プレーの続出となります。どの戦いも一進一退で、最後までわかりませんでした。

2チームを出した荒谷区班のAチームが中学生の活躍と、地力を見せ、初優勝いたしました。 準優勝: 上区2班 3位: 上区1班 でした。

球技大会終了後、各班とも祝勝会、あるいは残念会等を催し、仲間の交流を深め盛り上がったようです。

来年は、チームを出してない班も出せるようになればと思っています。ことにヘルスバレーボールは、やってみた人でないとわからないので、うまく伝えることができませんが、とにかく楽しいの一言に尽きます。参加された、選手役員の皆さん、ご苦労様でした。

ひたちなか市 高齢者芸能発表大会



去る10月21日(水)、ひたちなか市文化会館大ホールにおいて、「平成27年度ひたちなか市高齢者芸能発表大会」が開催されました。当自治会関係では、中根ときわ会会長西野隆さんを中心とした19名による民謡舞「長生き音頭(代表野中孝子)」が披露されました。



この日のために、練習を重ねてきたものですが、大変素晴らしいものでした。自ら楽しめるものを見つけ、仲間と一緒にやることの喜びがひしひしと伝わってきました。終了後の反省会では、大いに盛り上がったようです。

高齢者外出支援事業

わがまち ひたちなか市の再発見、命の洗濯を!!



去る7月27日(月)、社会福祉協議会「高齢者外出支援事業」の一環として、市内巡りが行われました。中根ときわ会のみなさん、他有志の方を含めて16名が参加いたしました。

午前中、常陸那珂港にある「(株)小松製作所茨城工場」を見学し、午後から勝田駅より「ひたちなか海浜鉄道」に乗り、那珂湊駅まで行きました。

昔が懐かしい駄菓子屋立ち寄りや、魚屋で買い物をしたりして、楽しいひとときを過ごしました。

外へ出ることによって、その場で気づいたことをすぐ会話できることがリフレッシュにつながるのではないのでしょうか。頑張りましょう。

市総合防災訓練に歩調(中根自主防災会)8月29日(土)

中央本部員・班防災部員・避難行動要支援者協力者等 365名参加

わたしたちの地域は自分たちで守るぞ！



防災は、自治会活動の中で、もっとも重要な課題として、自主防災会という別組織にして、これに特化して取り組んでいます。人の生死に関わることで、いざというとき、正しい判断・行動になりうるものは何かということを訓練を通して、模索しています。

班を単位とした会員相互の助け合いが、もっともまとまりやすい、活動しやすいという方向性が見えてきたため、一昨年より班を中心に実施してきました。各班に、防災倉庫を設置したのもそのためです。

去る8月2(日)中根小学校体育館において、班の防災部員を対象に説明会を実施し、共通の認識を持てるようにしました。

今年度の総括として、昨年度の経験は大きく、課題は山ほど出ました。これも、やってみてわかる貴重な体験で、次へ生かしていけばよいと考えています。

会員みなさんをお願いしてある安否確認の合図(合言葉)・タオル掛けの各班ごとの実施率について、図表にまとめてみました。これは安否確認をする人、される人、双方の共通認識ですので、避難(避難の想定訓練ですので、避難したとして)したら、“タオル掲示”を再確認いたしましょう。

安否確認をする人に対して、シグナルを出すことによって、その人が他の適切な行動に移れます。

なお、防災訓練については、皆さん方をお願いすることを含めて、別に掲載いたします。

班名	世帯数(A)	タオル掲示(B)	訪問確認	タオル掲示率 B/A (%)
下区	45	37	8	82.2
荒谷区	95	86	9	90.5
中区	32	30	2	93.8
上区1	120	82	38	68.3
上区2	123	86	37	69.9
上区南3	74	64	10	86.5
上区北3	98	88	10	89.8
上区4	121	100	21	82.6
後野	144	111	33	77.1
深谷津1	43	35	8	81.4
深谷津2	40	30	10	75.0
合計	935	749	186	80.1

※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※

投稿募集

本紙に会員の皆様の声や思いを載せるべく投稿欄を設けます。ふるってご応募いただきたくお願い申し上げます。内容はフリーです。投稿要領は左記の通りです。

- (1) 住所・氏名
- (2) 年齢
- (3) 電話番号
- (4) 字数 500字程度
- (5) 匿名希望の場合は、その旨を記載してください。
- (6) 連絡先は、090(5425)0185です(山田)。

編集後記

広報委員会は左記の方が担当します。

広報委員会

山田 俊
山下 勝司
渥美 英明
西野 隆
猪狩 茂
菊地 恵子
鯉淵 義文
伊藤 昇
その他若干名